

# 原理原則 を大切に



代表取締役社長  
大西 健路氏

Essay on Management

## 宇都宮製作株式会社

### 会社概要

所在地 東大阪市本庄西1-5-1  
 創業 1903年(明治36年)10月  
 設立 1935年12月  
 資本金 90百万円  
 事業内容 医療用等衛生資材の販売

当社は、明治36年に大阪の医薬品の中心地である道修町に隣接した淡路町で誕生し、平成23年で108年目にあたります。

創業以来、医療用品の販売を一貫して行っており、現在の主力商品はディスプレイ手袋を中心とした病院向けの衛生資材でございます。過去の商品群には、「水枕」、「氷嚢」、「水銀体温計」、「注射針」、「象牙製聴診器」など医療の歴史で懐かしいものが多くございます。

時代の変遷とともに扱った商品は変化いたしますが、常に国民の健康増進に役立つ商品を上市し続けてきたという自負を私共はもっております。創業時から進取の気風があり、飛行機のない時代に船と鉄道を利用して、社員を欧州に派遣して、商品の買い付けを行ったと伝え聞いております。また当時から「卸」というカテゴリーに属しておりましたが、自社ブランド商品に特化して来たのも、当社の特徴でございます。

近年においては、消耗品の取扱いが多く価格競争と海外生産が中心であるところで、新興国の人件費と原材料の高騰に悩まされておりますが、創業時の先達の気概をこれからも大切にしたいと考えております。

私は、経営に携ってから20年余りになりますが、当時サラリーマンから突然の就任で舵取り

の指針もなく、「どうしたものか」と困っていたところ、ある先輩からとにかく「原理原則だ」と言われ、また同じやるなら「王道を貫け」と教えられました。今も心に残る言葉で大切に思っております。

さて、経営においては「人、物、金」という三大要素が重要であると言われておりますが、その中で一番は何かと聞かれれば、やはり「人」であると思っております。他の2つは何とか後日取り戻すことも可能ですが、人材だけはそうはいかないからです。また何を為すにおいても人の意志が出発点であると思うからです。一番難しいことですが、一番大事なことであると位置づけて、今後も人材の育成に取り組みたいと思っております。

最後に私が大切にしている言葉は「禍福は糾える縄の如し」です。

人生、企業においても、少しのことで流れが大きく変わることが多々あります。「禍」と「福」は本当に言葉通り、表裏一体とも言えると思います。その時その時を大切に、人との出会いを大切にしたいと考えております。

今後、ますます高まる健康と、衛生意識の向上及び需要の拡大に、少しでも役立つ企業になるよう、これからも研鑽してまいりたいと考えております。